

昭和支部ニュース



昭天瑞民商 昭和支部発行 2024/7/31 第14号

会員訪問で対話はずむ

7月21日(日)、支部役員4名が二組に分かれて会員訪問をしました。14名の会員さんを訪問し、11名の方とお会いできました。

最近の円高や原材料費の値上がりでご苦労されている飲食店の方、長年賃貸アパート経営をされていてこの先のことを心配されている御高齢の方、日曜日でも汗を流しながら作業に忙しいクリーニング店経営の方など、皆さんからいろいろな思いをお話していただきました。また、お願いとして以下の文書をお渡ししました。

会員の皆さんへのお願い

日頃、民商の活動にご協力いただきありがとうございます。昭天瑞民商役員会より、すべての会員の皆さんへ3つのお願いをさせていただきます。皆様の力をお貸しください

- 1 残念ながら10年以上続けて会員数が減少しています。これ以上会員数が減少すれば来年以降の昭天瑞民商の維持ができなくなります。お知り合いをご紹介ください。
- 2 今まで民商の役員として活躍された皆さんも、高齢化や事業継承ができず廃業されています。できる範囲で、商工新聞の配達、集金など支部活動へのお手伝いをお願いします。
- 3 昭天瑞民商の事務局員を募集しています。お知り合いの方をご紹介ください。

もしお力添えをいただけることがありましたら事務局かお近くの支部役員までご連絡ください。

会員紹介コーナー

今回は昭和区御器所で漆塗り工芸を営んでいらっしゃる江原さんです。

江原さんは元々厨子などの仏具の漆塗りをされていましたが、葬儀の簡略化など時代の流れで、最近は手芸用品などの漆塗りを手掛けています。安価な輸入品が大量に流通していますが、一方で天然の漆の持つ独特の滑らかさや光沢に惹かれ、ネットや店舗などで買い求める人が増えているとのこと。

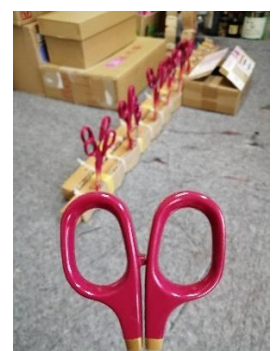
写真のはさみは刃物の町として知られる岐阜県関の職人さんのもので実用性と同時に美しさも兼ね備えた逸品です。手芸のお好きな会員の方がいらっしゃいましたらお買い求めになったらいかがでしょうか？

その他にも漆を使ったネイルシートの作成もされていて、日本の伝統美の美しさを現代に生かし、成人式や卒業式など特別なイベントに花を添えています。

日本の伝統工芸を支える貴重な技術をお持ちの江原さんには今後も末永く頑張っていただきたいと思いました。



(仕事場の江原さん)



(漆を施した鋏)

婦人部支部役員会開催

7/19(金)婦人部の集会があり、仕事、健康のことなどをテーマに話し合いました。